

的にどのようなイベント時に、どのようにクラブのPRを行ったか、その実現プロセスも含めてご紹介します。

■(1)「横浜開港祭」大イベントを舞台に総合型クラブの認知向上をねらう

市民が楽しみに待つ年に1度の大イベント「横浜開港祭」には70万人の人が詰めかけます。大勢の人と多くのブースが並ぶ大きなイベントで、人々に関心をもってもらうPRの秘策とは・・・？

▼文章全体と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=155>

■(2)高知「よさこい祭り」

知名度の高いお祭りを通して総合型クラブをPR

全国各地で盛り上がる「よさこい」発祥の地、高知の夏は、人と街が共鳴し地響きを引き起こすほどの“熱さ”です。クラブの総会企画から、いつしか地域住民を巻き込み一体となって達成できた秘訣とは・・・？

▼文章全体と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=156>

■(3)練馬区「Cherry-Blossom Festa 2008」

予算ゼロ、クラブのネットワークで実現させたイベント

自治体独立60周年とクラブ設立5周年の記念イベントは、すべてクラブ側の企画・運営で実施。補助金など資金援助一切なしで、5万人規模のイベントをどうやって実現させたのでしょうか・・・？

▼文章全体と写真はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=157>

【2】若手クラブ仕事人の夢メッセージ（遠藤晃弘さん）<NEW!>



◆今月から隔月で、クラブ関係の仕事をしている若手の声を取り上げていきます。若い人がどんな考えをもってこの仕事に取り組み、がんばっているのか、次世代を育てていく大人のあなたは必読です！

若い人に夢を与え、支持される「総合型クラブ」でありたいですね。

第1回は、神奈川県クラブ育成アドバイザーの遠藤晃弘さんです。

◆「ソーゴー…ナントカ…スポーツクラブって何ですか？」これは、先日開催された、横浜開港祭というビックイベントで横浜市総合型クラブ連絡協議会（設立準備中）がPRブースを出店したときに、ブースを見た市民の方々から幾度となく質問された言葉です。

改めて総合型クラブの認知度の低さを感じるとともに、短く簡潔に総合型クラブの説明をすることの難しさを感じました。

◆現在 2500 を超えるクラブが全国に育成されているそうですが、今まさに、クラブを「つくる」段階から、「つながる」段階へシフトしていく変革期が訪れていると感じています。

つながる理由は、各クラブが規模や自立度に差がありながらも、しっかり地域に根付いた活動を展開していくためです。

つながるムーブメントは市区町村から都道府県そして全国へ広がろうとしています。

◆これまでは、総合型クラブをつくることが目標になってしまっていて、何のために総合型クラブが必要なのかという根幹的な問題や、クラブの質はあまり重視されていなかったように感じます。

立ち上がったクラブ同士が、手を取り合い、理念・運営ノウハウの共有や情報交換を行っていくことで、総合型クラブが“民”でありながら“公”に近い性格をもった地域のコミュニティクラブとして、ひとつのブランドのように世間に広まっていく日がくるのではないかと信じています。

◆クラブ育成アドバイザーに就任したばかりの頃、「総合型クラブは日本を変える可能性を持っている！」という言葉を目にしました。

その時は、正直少し大げさだなと感じていました。

しかし、夢の詰まった 2500 ものクラブが手をつなぎ合ったとき、これはもはや大げさなことではなくなるのではないのでしょうか。

◆いま社会は、生きている充実感、迫力、輝き、明日を生きたいという希望が持ちにくくなってきています。

こんな時代だからこそ、自分の命を大切に仲間とつながりあって豊かな生活を創れるか、一緒に生きよう！楽しもう！という空間や関係を「クラブ」という切り口で創れるかが、私たち総合型クラブ関係者に問われています。巻き起こそう！ 熱き想いのスパイラル現象！

（遠藤晃弘 神奈川県クラブ育成アドバイザー）

【3】今月のクラブシンボル

こまちハート・オブ・ゴールドのキャラクター「なこちゃん」

～伝説の美女歌人・小野小町の誕生地で採用～



■こまちハート・オブ・ゴールド（秋田県湯沢市）は、平成17年5月に設立され、会員数は511人（平成20年5月現在）のクラブです。

合併前の旧雄勝（おがち）町の体育指導委員が運営委員の中心メンバーです。湯沢市雄勝地域は、9世紀の歌人「小野小町」生誕の地として毎年6月には「小町まつり」が行われています。才色兼備の小町を愛でる優美なお祭りで、7人の小町娘が選ばれ、観光客も大勢訪れています。

■住民が愛しく誇りに思う小野小町にあやかってできたキャラクター

「なでしこちゃん（通称；なこちゃん）」は、和風で細身のおしとやかな女の子。様々なスポーツをしている姿が愛おしい印象のキャラクターです。HPやチラシ、ユニフォーム、ゼッケンなどに必ず登場して、クラブの活動をサポートしてくれています。

■最近、「なこちゃん」＝「クラブ」のイメージも定着してきました。

新規事業には、新たな「なこちゃん」が登場し、スポーツの楽しさを魅せてくれます。

現在は18体の「なこちゃん」がいて、今後も増えていく予定です。

製作者は、クラブ運営に関わる事務局員の家族。イラストレーターでデザインの仕事をしています。

■こまちハート・オブ・ゴールドは、有森裕子さんが創ったNPO法人ハート・オブ・ゴールドと兄弟関係にあります。

理事に雄勝地域の出身者がいて、以前より旧雄勝町においてチャリティマラソン大会を行っていたこともあり、名前を使わせてもらうことになりました。こまちハート・オブ・ゴールドでは、クラブをあげて国際協力活動に力を注いでいます。6月7日の秋田さきがけ新聞には、文房具などをカンボジアに贈ったクラブの活動が紹介されています。

▼こまちハート・オブ・ゴールドHP、「なこちゃん」のデザインはこちらから

<http://aios.city-yuzawa.jp/heartofgold/index.html>

▼さきがけ on The Web～「文房具ありがとう」カンボジアから感謝の手紙届く

<http://www.sakigake.jp/p/akita/topics.jsp?kc=200806071>

▼小町まつりの開催（湯沢市HP）

<http://aios.city-yuzawa.jp/kanko/event02.htm>

【4】SCステーションPICKUP

～学校部活動と総合型クラブの連携や協働の事例はありますか？～



◆クラブづくりQ&A「SCステーション」から、毎月いつくか選んでご紹介

介します。アンケートでいただいたご質問の答えにもなっています。

◆「学校部活動と総合型クラブの連携や協働の事例はありますか？」

▼背景と意義 5-01 スポーツが社会に貢献できること

4. 学校運動部活動を取り巻く問題

事例：学校との緊密な連携

～NPO 法人ゆうスポーツクラブ（山口県由宇町）

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/movement.html>

▼2 組織と運営

Q26 部活動をサポートしている総合型クラブはありますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/205.html>

▼1 クラブのつくり方

Q10 学校部活動との良好な関係や連携は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/16.html>

▼1 クラブのつくり方

Q21 なかなか学校が協力してくれません。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/127.html>

▼書籍紹介「総合型地域スポーツクラブの時代～部活とクラブの協働～」

黒須充編著、創文企画 1600円＋税

上記以外の事例や、協働戦略・手順なども掲載されています。

（上記シリーズ第2巻「行政とクラブの協働」が6月中旬発刊されました。

詳しくはこちらから <http://www.soubun-kikaku.co.jp/sports/24.shtml>）

【5】メールマガジン7月号の予告



■<特集>さまざまな理念と設立趣旨

クラブづくりで理念や目的が大事なのはわかっているけれど、なかなかうまくまとまらない・・・そんなときは、まず、他のクラブのものを参考してみましよう。いろいろあります！

<新連載>私のクラブライフ自慢（隔月）

長野総合型スポーツクラブ（大阪府）の会員インタビュー集

<連載>今月のクラブシンボル など

■発行予定日；7月22日（火）

★事業報告・お知らせ★

●第1回四国ブロッククラブミーティング 2008(高知県四万十市)開催報告

全国でクラブミーティングが順次開催されています。

活発な情報交換や話し合いの内容をご報告します。

様々な取り組みや工夫を知ることができます。ぜひご覧ください！

6月1日(日) 於：高知県四万十市公民館

▼開催報告はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=158>

●アシスタントマネジャー資格を取ろう！

総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブの経営資源を有効活用できるクラブマネジャー、アシスタントマネジャーなどの人材は欠かせない存在です。クラブマネジャーを補佐する役割を担うアシスタントマネジャーについては、都道府県体育協会、都道府県教育委員会、広域スポーツセンターなどにおいて、養成講習会が実施されています。

内容には、地域スポーツクラブの現状やクラブマネジャーの役割、クラブのつくり方があり、クラブマネジメントの基礎を学ぶことができますようになっています。平成20年度の実施予定団体は本会HPにて紹介していますので、興味のある方はお問い合わせください。

▼実施予定団体一覧はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/pdf/assistant02.pdf>

●スポーツクラブづくりシンポジウム(東京都)が開催されます。

(財)東京都スポーツ文化事業団の主催により下記のとおり開催されます。

詳しくは、以下HPをご覧ください。

日時：平成20年7月5日(土)13:30~16:30(受付は13:00~)

場所：東京体育館第一会議室(JR千駄ヶ谷駅前)

内容：基調講演、パネルディスカッション

申込：フリーダイヤル0120-612-001 スマイルスポーツ事業センターへ

問合：東京都広域スポーツセンター 03-5474-2148

▼詳しくはこちらから▼

http://www.tef.or.jp/learning/le_all/details.php?id=E0000097

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

いつも、公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。

